

中小企業

精密機器

機 械

部品／部材

化 學

衣食住／他



01
組込み、画像、通信を軸に新技術・新分野を展望

FA推進の コア技術

●ISO9001(平成7年)/14001(平成13年)取得

- ①…「超高速」をキーワードにした組込ボードを開発・生産
- ②…多品種少量生産に対応する短時間段取り
- ③…高密度実装と高信頼性を追求
- ④…開発から製造、サポートまで一貫体制で対応

半導体製造装置を中心とする受託開発・生産で培った高度な技術で応えるFA(ファクトリーオートメーション)化のエキスパート。多分野からの要請も多い。



組込技術の プロバイダーとして

設立以来、半導体製造装置を中心とする受託開発・生産を行い、そこで培ってきた高度な組込技術、画像処理技術、通信技術の3つをコアとして、それらを最適に組み合わせる「システム技術」に高い評価を得ている。半導体製造装置、産業用ロボット、交通システム、通信システム、新エネルギー、医療機器など多くの産業機器・事業領域で活用されており、多品種少量生産にも対応できる総合力は、

「組込技術のプロバイダー」と称される。高速処理、高密度実装、高信頼性の追求、コスト・納期への対応力など、ユーザーのどのような要求水準にも対応できる生産システムの実現、また、システムの開発から設計・検証・製造・検査まで、自社内での一貫体制にこだわりを持ち続け、価値ある製品・サービスのタイムリーな提供をめざしている。



社長から、
もうひとコト

「お客様に厳しく揉まれる」受託開発・生産を通じた技術力向上が財産。それが自主製品開発に生かされることもあると考えています。

企業DATA



株式会社アバールデータ

■所在地 厚木市金田1041 ■お問い合わせ TEL 046-222-0111

■ホームページ <http://www.avaldata.co.jp> ■E-mail : kikuchiy@avaldata.co.jp

02

味の数値化技術を創造・提案する企業

味覚センサー

●元気なモノ作り中小企業300社選定

●神奈川工業技術開発大賞受賞

装置での計測や数値化はできないと思われてきた
味覚の世界に、テクノロジーとアイデアで参入。

目指すは“味のものさし”となるべき
「世界標準」づくりだという。

- ①…味認識装置の味覚センサー部(作動中)
- ②…味認識装置TS-5000Z(作動中)
- ③…受託分析試験
- ④…各基本物性測定

味の好みの 地域差・性差・年齢差も“見える化”

10年前に設立。九州大学との产学共同で開発した人間の舌を模倣する人工脂質膜を「味覚センサー」に応用し、味の数値化を提案している。人間の舌が感じる“旨味”や“苦味”などの基本味だけでなく、“コク”や“キレ”などまで数値化しているというから驚きだ。この数値化を支えるものこそが独自開発の味覚センサー(味認識装置)。これにより、味のトレンド、好みの地域差・性差・年齢差などの“見

える化”が実現されるという。競合他社の動向分析にも大いに役立ち、新商品開発の戦力となるわけだ。現在、多くの食品関連企業で官能評価ツールとして使われているばかりか、食品業界全体の評価基準にも導入されているという。また、人間による官能検査の行えない新薬、ペットフード、飼料などの評価ツールとしても期待されている。

社長から、
もうヒトコト

今後さらに、ユーザーニーズに立脚した応用領域の拡大や評価法の精度化に努め、それに見合った組織変革なども行うつもりでいます。

企業DATA



株式会社インテリジェントセンサー・テクノロジー

■所在地 厚木市恩名5-1-1 ■お問合せ TEL 046-296-6609

■ホームページ <http://www.insent.co.jp> ■E-mail : taste.sensor@insent.co.jp

03

デバイス基板のウェット処理装置メーカー

ウェットプロセス装置

文部科学省の主導により京都大学で開設された
『次世代低炭素ナノデバイス創製ハブ拠点』に
「フォトリソ工程用Kシリーズ」4台が採用。
提案型製品にも積極的に取り組む。

- ①…基板搬送メカの調整作業
- ②…基板ロボットティーチング作業
- ③…カセット(多種類認識)ステーション
- ④…装置電装/パネル部

性能も保守点検も 大手と明確な差別化を図る

創業時より、半導体製造に欠かせない洗浄装置を手掛け、エレクトロニクス業界(半導体・液晶・MEMSなど)のデバイス基板のウェット処理プロセス分野全般において、洗浄、塗布、現像、エッティング、剥離装置の開発販売業を展開してきた。開発部門の研究開発用装置は、ほとんどがオーダーメイド品で、付加価値が高く収益の柱となっている。主力製品「拡張型ウェットプロセス装置Kシリーズ」

は、少量多品種処理から量産用途へと段階的にバージョンアップが可能で、装置導入後も必要に応じた仕様へのアップグレードが可能。ムダなく効率的に長期間使え、過大な初期投資もかからないというこの特長により、大手企業の大型装置との差別化が図られている。加えて「保守点検365日24時間体制で受付」の小回りの良さも同様の差別化要因といえる。



専務から、
もうヒトコト

常に研究開発マインドを持ち、業界ニーズに合致した製品とサービスを提供できるよう、創造性のある技術の構築を目指しています。

企業DATA



株式会社カナメックス

■所在地 厚木市飯山3081-3 ■お問合せ TEL 046-247-5325
■ホームページ <http://www.kanamex.co.jp> ■E-mail : ask@kanamex.co.jp

04

あらゆる可能性を形にする光学部品メーカー

結晶機能の追求

●ISO9001(平成14年)／14001(平成16年)取得

- 元気なモノ作り中小企業300社選定
- かながわ中小企業モデル工場指定
- 神奈川工業技術開発大賞受賞
- 神奈川県優良工場表彰

35年前に各研究機関の試作加工業として現社長により創業以来、
結晶のもたらす光の特異性を追求するプロ集団として邁進。

それによって培われた世界屈指の先進技術を駆使し、
先端企業や研究機関の開発ニーズに
応える企業。

結晶に特化した 独自の開発・加工力

レーザー光の波長を半分や四分の一に変換できる結晶、偏光制御や波長変換などの光制御に広く利用される結晶、入射する光の振動方向によって光を分離したり位相差を生じさせたりできる結晶。これら結晶の“個性”を、光を制御する機能として昇華させ、光学結晶の可能性を追い続けること、そしてさらに新たな領域を目指すことが光学技研の企業姿勢だ。非線形結晶と組み合わせた「固体レーザー」は半導体プロセスの評価器などに広く

利用され、「EOセンサー」は通信用のセンシングなどに応用が拡大されている。「深紫外対応グラントムソン偏光制御素子」では、神奈川工業技術開発大賞の二度目の受賞を果たした。また、結晶に特化することで培われた結晶研磨や光学薄膜の技術が国内外で広く認められており、先進的企業、大学、研究機関などからの技術支援の要請も少なくない。

社長から、
もうひとコト

設計・加工のほか、調達～研磨～コーティング、最終測定までできる会社は日本でもまれなはず。その強みを生かした提案型企業を目指します。

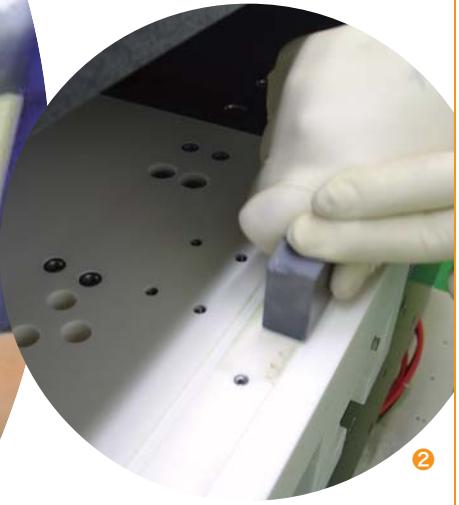
企業DATA

株式会社光学技研

■所在地 厚木市温水135 ■お問合せ TEL 046-224-2555

■ホームページ <http://www.kogakugiken.co.jp> ■E-mail : sales@kogakugiken.co.jp



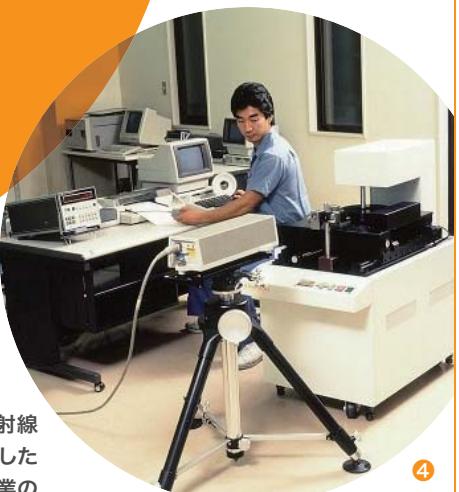


05 検査分野を中心にハイテク産業に貢献 超精密位置決め 機構

●ISO14001(平成16年)取得

- ①…「キサゲ」加工による精度調整
- ②…「ハンドラップ」加工による精度調整
- ③…恒温室で組立て中の半導体検査装置
- ④…レーザー測定による精度測定

FPD(フラット・パネル・ディスプレイ)検査や半導体検査の際に重要な「位置決め」。これを超精密レベルで達成するための技術とノウハウを有する集団。



“手仕上げ”と 高精度測定技術の融合

FPD検査装置や半導体検査装置などの精密位置決め機構をコアテクノロジーとして、「キサゲ」や「ハンドラップ」と呼ばれる“手仕上げ”的加工技術と高精度測定技術の融合により、ハイテク産業の発展に貢献してきた。精密位置決め機構は、半導体検査装置用・FPD検査装置用・SEM用真空対応・レーザー加工機用の各ステージにおいて、最高のパフォーマンスを達成し高評価を得ている。40

年ほど前から手がけている視力検査装置、放射線治療装置、眼鏡レンズ用自動玉摺器など、安定した品質が要求される医療関連機器分野では、作業の標準化と徹底した品質管理に注力している。また、高精度なメカニズムとモーションコントローラー、PLC制御技術の融合により、半導体やFPDの搬送装置、電子部品組立機など、FAシステム製品の製造も行っている。



社長から、
もうひとコト

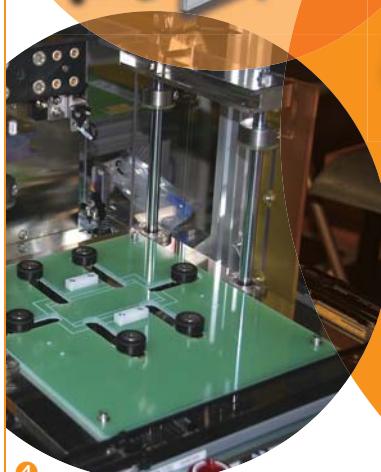
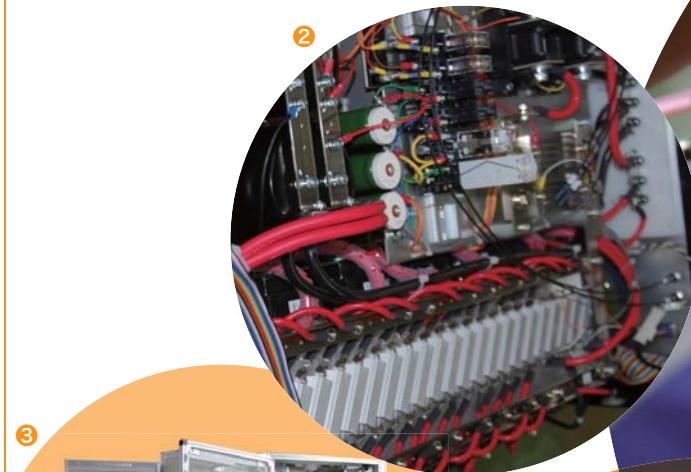
従業員のほとんどが技術者もしくは技能者。若い世代も職人気質が強く、“手仕上げ”的伝承がスムーズにできているのが当社の強みです。

企業DATA



株式会社工研

■所在地 厚木市長谷6-37 ■お問い合わせ TEL 046-248-6617
■ホームページ <http://www.koken-nt.co.jp> ■E-mail : info@koken-nt.co.jp



④

①…パワーデバイス測定器の調整
細心の注意の元、高精度な測定器として調整する②…測定装置の内部
複雑な測定装置も内部は整然と構築されている③…測定装置の外観
当社製品(パワーデバイス測定器)の一例④…テストフックスチャ―
測定対象物を正確に測定器と接続する役目を担う

06

測定・検査システム提供メーカー

半導体計測器

●かながわ中小企業モデル工場指定

●ISO14001(平成16年)取得

●神奈川県優良工場表彰

汎用測定器～大電力用パワーデバイス測定機器

～IC/LSI測定機器、さらにはそれらを組み合わせたテストラインへと発展する測定・検査システムの扱い手。

多種多彩なノウハウをユーザーに提示

コペル電子の測定・検査システムは、エレクトロニクス、メカトロニクス、コンピュータの3つの柱によって支えられている。汎用測定器や各種テスト周辺機器にはじまり、大電力用パワーデバイス測定機器、IC/LSI測定機器、さらにはそれらを組み合わせたテストラインへと発展。「最新の半導体にしなやかにフィットし、エレクトロニクス技術の飛翔に“信頼の翼”を与える」が合言葉だ。主力製品であ

る半導体計測器だけを見ても、動特性検査装置、静特性検査装置、過渡熱抵抗測定器、パワーサイクル試験装置、オートハンドラーなど多岐にわたることからもわかるように、コペル電子がユーザーに示せるノウハウはじつに多彩な顔を持っている。また、カスタムメイド製品の製造も行い、汎用製品では得られない機能・性能を提供している。



社長から、もうひとコト

なんといっても技術が当社の財産。技術者たる社員のモチベーション高揚を常に願い、一人一人を家族のように大切にしたい。

企業DATA



コペル電子株式会社

■所在地 厚木市船子43 ■お問合せ TEL 046-247-7366
■ホームページ <http://www.copernics.co.jp> ■E-mail : info@copernics.co.jp



①



②

「三次元の専門家集団」と自他共に認めるところ、
三次元計測機の開発に国内でいち早く着手し、
世界的評価を得る自社製品を生み出した。
併行して関連ソフトウェア開発も行う。

07 測定機・ソフトウェア開発メーカー 三次元測定機

●ISO9001(平成12年)取得

- ①…最新のモデル加工機。オートツールチェンジャーなど新機能を搭載
- ②…光学式の非接触型測定機
- ③…部材の切削加工
- ④…2008年完成の新社屋



③



④

開発造形から 製造・検査・完成まで対応

1960年に東京貿易(株)のメカトロシステム事業部として、レイアウトマシンの販売代理業務を開始。1969年に厚木工場が現在地に完成し、1994年に現社名で独立した。主力製品である三次元測定機は、自動車などを測定する高性能レイアウトマシンであり、世界でもトップクラスの性能と認められている。自動車以外にも多くの業界の製品開発やコスト低減に貢献。さまざまな製品の開

発造形から製造・検査・完成まで一連のプロセスにおける計測およびデータ処理作業に総合的に対応可能だ。自社製品以外でも、母体が商社の強みを生かして海外の測定機やソフトウェアの導入なども可能だという。先頃、トヨタ自動車(株)の幻の名車「パブリカスポーツ」が5年がかりで復元された際に、そのプロジェクトメンバーの1人に社長が選ばれたのも、そうした技術力と総合力があつてのことだ。



管理部員
から、
もうひとコト

各種測定機器の国家標準へのトレーサビリティを確立することにより、三次元測定機で得られた測定結果の信頼性を確保しています。

企業DATA



東京貿易テクノシステム株式会社

■所在地 厚木市上依知1261 ■お問合せ TEL 046-246-3951
■ホームページ <http://www.tbts.co.jp>

08

レーザ技術・プロセス技術融合メーカー

レーザプロセス

●神奈川工業技術開発大賞受賞

マーケットセグメントを想定した技術開発を
ビジネススタイルとし、その装置化も行う。
日本発明振興協会「第35回発明大賞
考案功労賞」をはじめ受賞も多い。

- ①…厚木アクトロビー
- ②…開発製品「IGBTアニーラ」
- ③…開発製品「JC-30XL」
- ④…開発製品「SiCアニーラ」

ピンポイントの ソリューションを提案

レーザ技術とプロセス技術を融合させた「レーザプロセス装置メーカー」。半導体、薄膜、微細孔、ハーネスなどの製造工程での技術課題を独自に抽出し、物性のサイエンスとレーザのテクノロジーを組み合わせたピンポイントのソリューションを提案し、装置化している。レーザプロセス技術を事業内容として打ち出している企業は世界的にも少なく、国内では唯一と認識。多くの企業が参入していく

るレーザ加工技術分野とは技術領域もマーケットも異なるという。少数精鋭主義でレーザプロセス技術の開発や基本特許取得ならびに設計に特化し、製造は市内外企業へ委託する方式。2002年の設立で、その半年後に現在の厚木アクトインキュベーションルームに移転してきた。今後の展望としては、「パワーデバイスをターゲットとした取り組み」とのことだ。

社長から、
もうひとコト

必要なのは、ユーザーの課題を常に先取りする発想と着眼力。それによって、いかに最適なソリューションを提供するか、だと思います。

企業DATA

フェトン株式会社

■所在地 厚木市岡田3050 厚木アクトメインタワー3F ■お問い合わせ TEL 046-220-2931
 ■ホームページ <http://www.phoeton.com> ■E-mail : info@phoeton.com

